

EC2 内の仮想マシンに EC2 API tools をインストールする

<http://understeer.hatenablog.com/entry/2012/06/13/223227>

<http://laugh-labo.blogspot.jp/2011/12/ec2-api-toolscentos.html>

セキュリティの設定について

EC2 API を利用するためには 3 つの認証の方法がある。

主に利用されるのは以下の方法

<https://avinton.com/academy/aws-cli-install-setting/>

自分の PC や AWS 以外のサーバーから利用

専用の IAM ユーザーを作成し、アクセスキーの発行が必要

EC2 のインスタンス上から利用

必要な権限を有した IAM ロールを作成し、EC2 インスタンスにアタッチする (推奨) または
アクセスキーを利用する

X509

古いバージョンで利用していた方法。現在は利用できなくなっている。

X509 を取得

証明書と秘密鍵をダウンロードしておく

```
秘密鍵 : pk-*****.pem  
証明書 : cert-*****.pem
```

これらを EC2 の仮想マシンへ転送して、

```
/root/.ec2/
```

へ移動。(パスはどこでもいい)

利用するための環境変数

```
export EC2_PRIVATE_KEY="/root/.ec2/pk-xxxxxxxxxxxxx.pem"  
export EC2_CERT="/root/.ec2/cert-xxxxxxxxxxxxx.pem"
```

アクセスキー

アクセスキー、シークレットキーの取得

<http://exploreaws.doorblog.jp/archives/22741540.html>

セキュリティ証明の画面からアクセスキーとシークレットキーを取得する。

利用するための環境変数

```
export AWS_ACCESS_KEY='アクセスキー文字列 '  
export AWS_SECRET_KEY='シークレットアクセスキー文字列 '
```

IAM ロール

AWS 推奨の方法。

ロールを作成してインスタンス起動時にロールを設定する。
インスタンス起動時以外はロールの設定ができないので注意。
環境変数等は必要なし。

EC2 API tools

java をインストール

EC2 の仮想マシンに java をインストール。
jre だけでいいと思うけど、JDK をいれちゃう。

```
yum install java-1.7.0-openjdk-devel.x86_64
```

API tools をインストール

```
wget http://s3.amazonaws.com/ec2-downloads/ec2-api-tools.zip
```

適当な場所へ解凍。念のため置いておく

```
/root/tools/ec2-api-tools
```

にしておく。

環境変数設定用ファイル作成

.bash_profile とかにパスを設定してもいいけど、
使うときだけ環境変数にセットしたい。

```
vi /root/bin/envEC2
```

```
export JAVA_HOME="/etc/alternatives/java_sdk"  
export EC2_HOME="/root/tools/ec2-api-tools"  
export EC2_URL="http://ec2.ap-northeast-1.amazonaws.com"  
export PATH="${PATH}:${EC2_HOME}/bin"
```

みたいな感じなのを作成しておく。

X509 の場合は

```
export EC2_PRIVATE_KEY="/root/.ec2/pk-xxxxxxxxxxxxx.pem"  
export EC2_CERT="/root/.ec2/cert-xxxxxxxxxxxxx.pem"
```

アクセスキーの場合は、

```
export AWS_ACCESS_KEY='アクセスキー文字列 '  
export AWS_SECRET_KEY='シークレットアクセスキー文字列 '
```

が必要になる。

使ってみる

環境変数設定

```
source /root/bin/envEC2
```

リージョン一覧表示

```
$ ec2-describe-regions
```

インスタンス一覧

```
$ ec2-describe-instances
```